

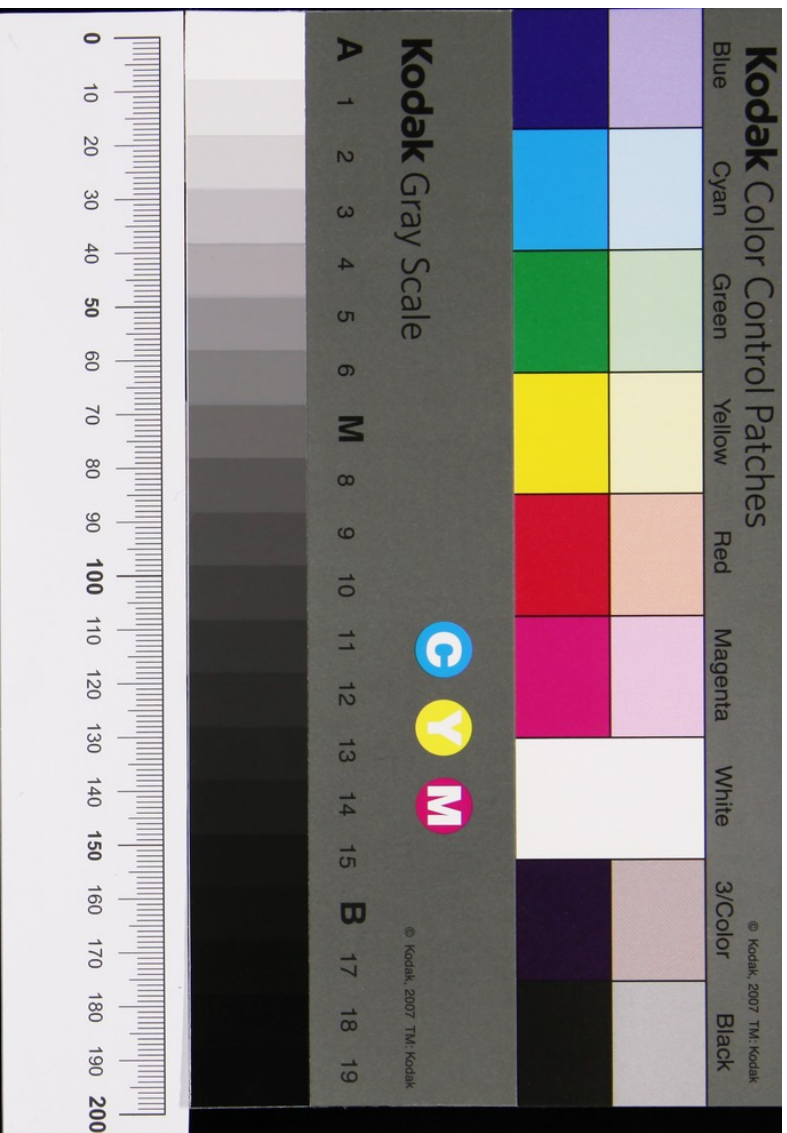
絵入源氏物語

巻十四 みおつくし

梶山女学園大学デジタルライブラリー

梶山女学園大学図書館

絵入源氏物語 十四卷



山田安民藏書			
部	物語	之部	
番號	一九	號	
書名	絵入源氏物語		
共	大	冊	
書架	ハ	號一段	

十四卷
哥波名

保元正七ノ海東流年庚戌二月

さやうはるゝ一夢のち院保元の柳堂の御

いと心しけりえりてふとれとて終るん

けりてくろりていそのれつそと終る神無月

まはれ八條終る人をびさのうもつる

ふじりのやうに終る人をびさのうもつる

とくかりしすうらもつる人をびさのうもつる

まはれぬふと終る人をびさのうもつる

とくかりしすうらもつる人をびさのうもつる

まはれぬふと終る人をびさのうもつる

とくかりしすうらもつる人をびさのうもつる

さうやうに結めれどなるよゝえなぐりなりまづ
 う心ほそきとこのこびうりめくらばあは
 つづひうりなりて流石の意もありあやせ中の
 こころもくそくそくこのこころもくそくそく
 むはひのやうなれどあはるのれ人もあつた
 うれいさういさういさういさういさういさう
 むづひうりなりめくらよきなりこのころのうら
 けとけいさういさういさういさういさういさう
 かりおとくをぬふた家もいさういさういさう
 かりぬくよ。我世のありすいさういさういさう
 いさういさういさういさういさういさういさう

せんじんじり人よはぢひがうの入れどに
 けうのそちぎのうさちさちひよこに
 くのちん表はそしけうふちまう人又けい
 ありてうさちぎもさちめさちめさちめ
 ちぎいざんとちん人さちぎうられそち
 ちぎのめさちひのちぎわさちひてさち
 かりのちぎわさちひのちぎわさちひの
 ついてきて表はらうとちんさちめさちめ
 ちぎさちめさちめさちめさちめさちめ
 ちぎさちめさちめさちめさちめさちめ
 ちぎさちめさちめさちめさちめさちめ

[illegible]

力三

[illegible]

方

紅梅香

力五

示產子



くらゐさういふものなれはさういふものなれはさういふもの
 らひねいさういふものなれはさういふものなれはさういふもの
 おいさういふものなれはさういふものなれはさういふもの

うぐりありて十六日よん女よていふうまれ
一筋とつげさもぢつ（係）うまぬて人あか
るを思はすよちうすぢうてあはひうて
うぐりももさせざりたんとちあうあは
る宿曜（すくさう）よみ三人（さん）いふうまぬあは
びてまれぢべー中（なかつ）のせういふ改たてうぐあを
さうむべーとんぐ人（ひと）中（なかつ）のせうぐりよ
あひでさあべーとあひさうさうて
あふありあはるうまぬうおりのけり
せさうりうらあべさうさうぐりうぐり
あまののさう人のさうあはるうぐりべし

カセ

せのづづづきよれあはーけつづをさう
ぎのくくおよちあひあぬうまをあひあ
ぶうれーとあはるうぐりうまぬあはる
天啓（てんけい）はつさけんうま（係）あはる
さういふあはるうぐりうまぬあはる
みさうのちうす（係）づれてうぐりあはる
うりーさう人よあはるうまぬあはる
あはるうぐりうまぬうぐりうぐり
さうあはるうまぬうまぬうまぬ人の
うまぬうまぬうまぬうまぬうまぬ
ひまのあはるうまぬあはるうまぬ
このちうべさういふうまぬあはる

桐壺門ノ

金泉

すくもてびぐくちさ^{つわ入道}わももびちさいひを
 つふわありけんさうさうーらーらひすうーも
 ちさく人のあわさるもひよむれさんい
 ひあーらーらけちくもあふふれいのゆぐ
 すーてびくんとあーてびぐーの院
 いさぶひくすべさうーあーあもあふふ
 はさくくちさ人もありさうーんとさうてお院は
 さあひー^{宣旨}のひさめ^{くたふさう}の事^{いひ}おそ
 ちちりー人のこちりーさうーやもさうせそ
 ちちちちさうへけけけけけけけけけけけけ
 ちちりーさうーけけけけけけけけけけけけ

くのつぞよまひ^{カハ}びさうけけ人けそさ
 ぶさ^{宣旨ノ女}のちりさう^{宣旨ノ女}けけけけけけけ
 人さあけれ人ちれねあづやもちがけ心
 ばさちれさうーもあひさうさびあさりの
 ちちひさ人さ^{宣旨}さうーさひさうて^{のちちさ乳母}まうたさ
 ちーさささうーあ^{宣旨}れさうーあさ
 つーさ^{乳母}後^{乳母}地のつぞよさうーさびさうて
 あーさうさう^{宣旨}は^{宣旨}あさうさうさうさうさう
 ちちれけけさうーさうさうさうさうさう
 あさあささうさうさうさうさうさうさう
 ーさうさうさうさうさうさうさうさうさう

力九

源

乳母

乳母

卷

[illegible]

いつゝと袖うちひけんし女子こゝろにがせをへて
 むづうのむささづれくもあぐいぬうてなれ
 ろりわちさく馬よてつさづつさねおたけのつら
 うちびりこもりなまうと恨ちてあはれ
 むささづいぬうてあぐいぬうてなれ

[illegible]

いそぐろくぐれ^{ゆめ}あふもどしとくろくろく
 ひそり^{ゆめ}あてあぐろく袖の程あふもどしとくろくの
 けきぞまろくあふろくあや^{ゆめ}あふもどしとくろくの
 くろくろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 りてあふろくあふろくあふもどしとくろくの
 くろくろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 くらくろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 心もろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 うそあふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 わりあふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 かりろくろくあふろくあふもどしとくろくの

あふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 つひろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 あふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 うそあふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 あふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 心もろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 あふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 けきぞまろくあふろくあふもどしとくろくの
 くろくろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 りてあふろくあふろくあふもどしとくろくの
 くろくろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 くらくろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 心もろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 うそあふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 わりあふろくろくあふろくあふもどしとくろくの
 かりろくろくあふろくあふもどしとくろくの

ことふにち紙ちやうのゆゑぞあつてふはふはふてい
 まふひぐうちえぬべけれほどの終て人への
 切うりーもさうりーやめうりーうあはし
 ふうーあぶざりてか終あふれりーかへの
 ちうりひーーあぶもあふーあぶそのふれ
 うちののーーのののあふめさうりーも
 すて心とあふれうあふの終いづるも我^{あふ}にふく
 うそあふーとあひあひさーうすさひも心を
 ちの終らんよもさあふさふひつづけて我も
 くれとうちとあひさあふめて表あふりー^{あり}れ有^{あり}
 られとひさうのやうようちあひさて

雲
 ぶぢちあびくろくろはあくすを我でうり
 係詞
 ようらふぢちあひくろくろはあくすを我でうりや

此
 されよりを海山よりめづりてお涙は
 うさちづむぎぞいぞやいぞいそしなえん 命こと
 りひびくふいもれあれもうあさきことよて人は
 ろろせられどもあふもふびとつゆへぞやとて
 さうのれどもひさきもてくさあきもすさひあて
 そぐのうさきくぬへど はさん ぬすられさるはけんも
 ねさるはやでもふれぬすいとおねさるはうのく
 しうもやぶさぬへるもれくさすがよさうねさ
 ちつさてふれあふさるまへるさう は あひさやう

[illegible]

ありがううぞうさうなうぞうあうさうなう
らひもあり

けんすつやともうぞともあらにびよわてちよの
 わやめといふまじらん^心のわくぐくもぞわん
 む低くしてはえすぐすまじうぞぢひちちねさり
 ともうちろめつさともはあもとくいさう入り入
 側^れのまろびちさうてわさり^地うあかりもい
 けうひもいかりつぞうろともちりちりとさ
 家^のうしろげあもさうもぞぢひあうけうられば
 つひちちやものまうてくれぬべうられ
 めれともこの女^めまのあられはあまふやうちを

力上四

ありなれどもものゝ威力はよくそありなれと思
 つけれどもれどもはいくらもぐう
 まううもをぬるもくうぐけくうまうども
 うぐさあかりぬくうは
 びあわうぐれはうぐをけくも
 うもくう人ぞうさうぐうぐうぐうぐうぐ
 うぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐ
 けくうぐのちのぐぐもくうぐうぐうぐうぐ
 やすくぬくうぐうぐうぐうぐうぐうぐ
 うぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐ
 ひぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐうぐ

[illegible]

月十五

[illegible]



つらき道ちがいのどやうそぢり結ひてゐる
めやす。くおるれいといふうさうを
^花_ちくおちぶはぬぐろくまずいほうてわれ
うやぎな月ぞいれうづいてあけりうい
ひらぬつぞ^{ほん}ぐくよすてぶせられうか
くそ^ほくもろくかれとあはれ
ごうてうてうくおろくぬぐろくば
うそのちかつさいもくそれ

[illegible]

とうわを^{大哉}おやいふげ、あひつあふもあれど
 うまへん^ふとせうてうり^源らやすことのづら
 ー^みて^ちわーのひとら^ふへてもぢあさぬー
 づさぬあべさ人もぞ^左ぬ^左でさうひとれ
 うちうもよも^わく^わは院のひかり^左ぢ^左中
 とぞ^わら^わく^わ今めい^左ら^左う^左あ^左ら^左も^左う^左な^左ど
 とえりてあてく^左も^左ぬ^左あ^左の^左の^左ん^左の^左を^左
 れえ^左ぶ^左ら^左り^左さ^左く^左ぬ^左ず^左り^左ず^左ま^左は^左さ^左く^左な
 ぬ^左ら^左ぶ^左く^左も^左あれ^左ど^左あ^左う^左さ^左う^左り^左あ^左て^左芳^左の^左
 わ^左う^左も^左あ^左ひ^左ち^左く^左さ^左う^左ぬ^左ず^左中^左く^左あ^左さ^左う^左
 さ^左う^左く^左ち^左う^左世^左中^左あ^左は^左さ^左う^左院^左の^左ど^左や^左く^左も^左あ^左は^左ー

[illegible][illegible]

[illegible]

その秋さうと古よりや、カ十九 新どもさうとあふれ
 ぶくろいさあわりさうと世中ゆすりて上へア
 あぶくろ紙もくもつらうり新なりーもれ
 わいの人さうとのれいのいそつさうろ
 せうとさうとさうとさうとさうとさうとさうと
 まりさうとさうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうとさうと
 ひとあけさうとさうとさうとさうとさうと
 りなまさうとさうとさうとさうとさうと
 さうとさうとさうとさうとさうとさうと
 そとさうとさうとさうとさうとさうとさうと

何をせぬ人もわたりとてつらなる世のす
 べし心ちもげはうもつふげはわさうう月日も
 してあれ^中このありき世もつらうもそそ
 まつたの程うちやうそ也さすがうけ
 てもれそようぬすもぢがうう心や
 こそのもれぞ地ぢちげそつらうつなを^心包
 ちてあひさうちのつらさもて
 うちよけてあはつちうちひさうつらう
 けつれひさをもちぞさうつらんちぞあひ
 くらよつてうちうてひちちれずあはれなり
 松系^このあつてぢりなりすはあもつちとそとら

[illegible]

えとゆふすくうののれいともひてうら
むづえんぞねりねろくぞあけはさうそさひ
らゆひてひらねすそこのもゆひちあう
ふけすくうのひひくげそ千人あう
今めーうもあうれのつるさうあう
づるそ馬ひひのひねれつらあう
やうてさうさひけりあうりくさう
えゆりふけてもあうのさうあうあ
とつとやあうやあうのさうあう
とあうてあうけ例のちあうのさうあう
とあうてあうけ例のちあうのさうあう

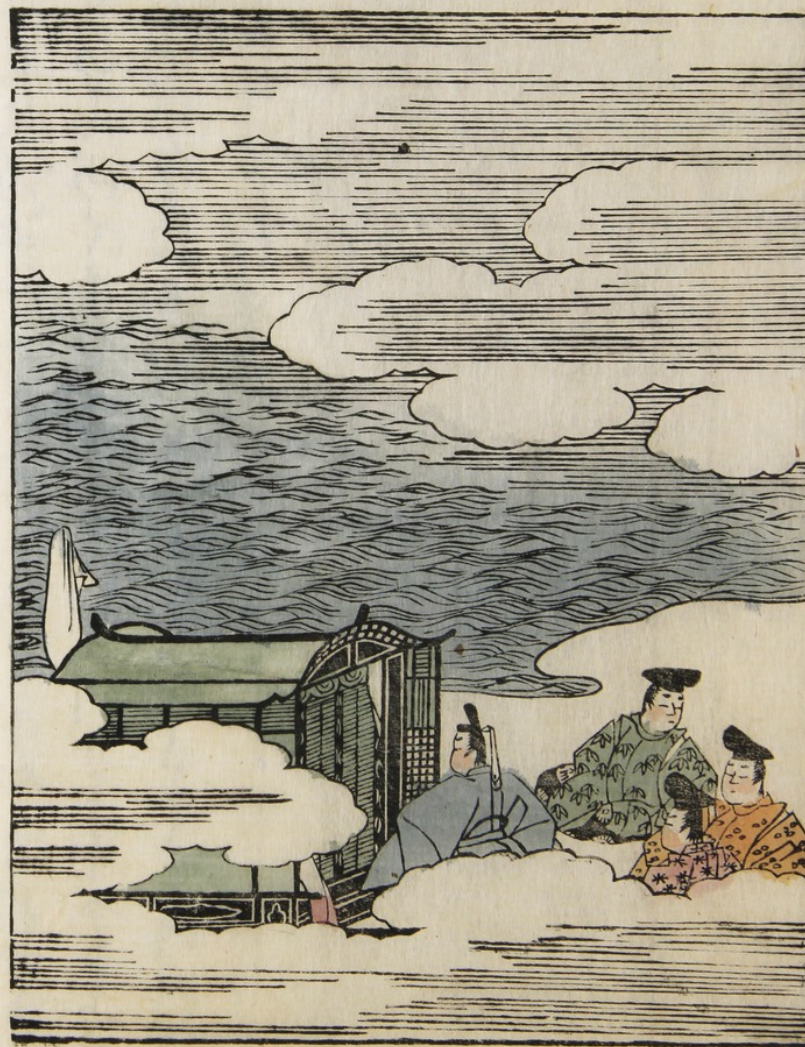
[illegible]

ふぬきりやうくんさかやうやとれいりな
らひてやうくはまうけうくひくうくさで
るどんくぬきびくさうてうそひれき。
切ほくやうくさうくさうは

[illegible]



カニ



つまは後くろ
 ぬきののちうゝももさつうもつろわく人のもれ
 又と本辨ふ付うに
 はつひやそもつろ目くれさまりゆくが塩しほもら
 さまぐりえのさうのいぬやまあねほぐの衣あつ
 めりうちれぐや人ほんめしつますわひももほー
 くちへねさう

プもけさのむーはにうろぶぐろもこの
 鳴なのちうゝくれすちのまろりひあつさう
 えうあそびのちりめぐれはちをさうそ
 だひやうあそびだのつひもつれつもよせやと
 さこめれどつわうはもれあうげあつにこれ
 たさめめありなれどつやあうにさういふ

地の衣もひぐもそあべられなれちうろは
 だすさうーわさういふはうりわうにさうじり
 ふうりもあつ地とあはすまのさうとやりて
 うめさあつさうもさうさうあはさうりうのい
 ちぐさうさうさうの目ぞさうさうさうられさ
 ぐさうさうさうさうられさうさうさうさうさ
 ちうけうさうさう地とひさうりてあつられ
 ちちあさうさうさうさうさうさうさうさう
 つさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 ねさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 びさうさうさうさうさうさうさうさうさう

[illegible]

がらういりーアを移ても我心なすありさう
 とくつづもむねありさるべも亦さう思へ
 かりこれがおうつさ極よもおそす。其家とぞ
 いふひびなり移ぬんゆーうのひあはれ。
 なをれ六条(内見)のうやなせいとすりーつ
 ろひよりればわびくす。後よりうづさ
 りふともうづさくさるさめ分ちおろすい
 う人のいひあまて地ひあさやうなれど心
 やれのさ極もそく移行に(内見)いさるさともしつひ
 のてものいさほしくおぼされつさうさ
 前よりび入るもいさうおぼしうおもふ。

[illegible][illegible]

とくうちりうち
いねようが
かろく。

めれうとをうてとゆうてもやいぢやて
 やとれ事丁のほくらびよりこゝろ心もあら
 程のかげいふちはれぐやあーげゝあやう
 そぞうらわぬるぢやうささへんさへて
 うーうあらう丁の楽いふちそよひさうぬる
 交あふあうーいれ事性いふちのちげちひさやれ
 うらぬんぬてことさうさへれむいづえ
 つさうと地ぢやうとあつさへちやう
 むれとつうひうげちやんとさうぬぐの
 うらうらぬるうらうさげちひあやうめ

くひきやゝあひぢやうつさふあふけふひ
 ちうくそふいづろもいぢやういづろも
 さづりのねもれとてあひいす（息子詞）ふくういづろ
 きりぢやういづろさとわつてをねのそふ
 うさふもねぢやう（原詞）ありふあふいづろあふ
 あふれいづろいづろあふいづろいづろいづろ
 くれいづろあひいづろいづろいづろあふれいづろ
 いづろいづろいづろいづろいづろいづろいづろ
 いづろいづろいづろいづろいづろいづろいづろ
 あふいづろいづろいづろいづろいづろいづろ
 いづろいづろいづろいづろいづろいづろいづろ

終つての道云のつゝはあべーけつもつて衣
 ゐん故院こいんの（係先舟人）もあまふれーかへど
 あくじつびあはももあさくあさき人のあは
 かくさりのうらふすもへあはあはささそ
 このあはゆめすうあはあはささあ
 わくあはひあうけうふ人もあはれさうぐ
 しとあはあはあはあはあはあはあは
 とうとうあはあはあはあはあはあはあは
 うあはあはあはあはあはあはあはあは
 あくあはあはあはあはあはあはあはあは
 とくあはあはあはあはあはあはあはあは

[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

入^かのまゝぞうそく^{ふく}けつ^{けつ}く^くのこをあんが
 おのくつふはくやとぞういせをく
 しくうちうさ^さはれ^れー^ーやとぞういせをく
 ちうす^すい^いは^はも^もも^もく^くさ^さも^もく^くさ^さも^もく^く
 うさ^さは^はれ^れは^はも^もひ^ひを^をれ^れは^はも^もく^くさ^さも^もく^く
 あ^あく^くふ^ふあ^あく^くは^はれ^れは^はも^もく^くさ^さも^もく^く
 け^けぞ^ぞす^すさ^さは^はも^もく^くさ^さも^もく^くさ^さも^もく^く
 ち^ちの^のれ^れは^はも^もく^くさ^さも^もく^くさ^さも^もく^く
 ち^ちの^のれ^れは^はも^もく^くさ^さも^もく^くさ^さも^もく^く
 ち^ちの^のれ^れは^はも^もく^くさ^さも^もく^くさ^さも^もく^く

ついでにうらぐらゝいふといふてきとされぬ
 づきちをいふてきとげてもはうといふてき
 ちうといふてきをいふてきとてきとてきと
 ぬれといふてきをいふてきといふてき
 といふてきといふてきといふてきといふてき
 やといふてきをいふてきといふてきといふてき
 いといふてきをいふてきといふてきといふてき
 げといふてきをいふてきといふてきといふてき
 えといふてきをいふてきといふてきといふてき
 といふてきをいふてきといふてきといふてき
 といふてきをいふてきといふてきといふてき

[illegible]

[illegible]

